

課題名	急性過敏性肺炎患者の CT 画像における線維化進行リスクの検討
承認番号	2022-36 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 呼吸器内科 氏名 岡安 香
研究期間	(西暦) 2023 年 1 月 ~ (西暦) 2024 年 3 月
研究の意義・目的	<p>間質性肺炎は、原因によって急性/慢性過敏性肺炎、膠原病性、特発性、喫煙関連、薬剤性、サルコイドーシス関連、などに分類されます。</p> <p>抗原暴露後 4 時間から 12 時間程度で症状が出現する急性過敏性肺炎は過敏性肺炎の一部分を占めると考えられておりますが、一般的に長期経過の慢性過敏性肺炎と比較して予後が良いとされています。しかし経過中に肺の不可逆的な線維化を起こす症例がみられることも報告されています。</p> <p>本研究では、急性過敏性肺炎に特徴的とされる胸部 CT 所見の解析を行い、急性過敏性肺炎例の中で肺の線維化が生じるかどうか、また線維化が進行するかどうかを推定する因子を検索することを目標としました。また過敏性肺炎を生じた抗原が特定できたかどうかなど、生活環境を含む各種評価項目もあわせて解析を行います。</p> <p>当院に急性過敏性肺炎で通院または入院された患者様を対象に、各種臨床データを後方視的に解析します。今回の検討により、急性過敏性肺炎の予後推定がより適切に行えるようになり、早期治療介入に関する知見を得ることができるようになると考えています。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>2012年1月1日から2019年12月31日までに当院で抗原回避試験、吸入誘発試験もしくは外科生検から確定診断され、胸部CTを複数回撮影している急性過敏性肺炎の患者さん全例を対象とします。カルテに記載された患者さんの臨床情報を使用しますので、改めて検査を行うことはありません。この研究で得られたデータは東京医科歯科大学呼吸器内科および(株)エムネスの匿名化クラウドにて、個人情報が出漏れないように厳重に管理・保存させていただきます。匿名化クラウド上で共同研究施設の放射線科医(関西労災病院放射線科(上甲 剛)、佐賀大学放射線科(江頭玲子)、東北大学放射線科(富永循哉)、NHO近畿呼吸器疾患センター放射線科(澄川裕允)、金沢大学放射線科(上野 碧)、東京慈恵会医科大学放射線科(福田大記))による画像読影を行います。</p> <p>この研究で得られたデータをその他の研究に使用する際はあらかじめ倫理委員会の承認を得た上で行います。本研究の該当患者さんや、その代諾者の希望があれば、情報の利用又は提供を停止いたします。</p>
試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供される場合はその方法を含む)	<p>患者さんを匿名化した上でパスワードを設定し、電子記録媒体を用いて東京医科歯科大学に情報を集約し、同学において研究者が責任を持って 10 年間保存します。当院においては研究の終了から 3 年間保存します。</p> <p>保存期間を超えた情報は匿名化されたまま廃棄します。データは学会発表と論文作成のみに使用し、前述以外の使用目的には一切使用しません。本研究で得られた情報を別の研究に二次利用する際は、新たな研究計画を立案時点で倫理委員会に諮り、承認を得られた後に、研究内容について掲示をさせていただきます。</p>

<p>利用又は提供する 試料・情報の項目</p>	<p>年齢、性別、病名と病歴、生活歴、既往歴、採血検査所見・肺活量検査所見・ 病理所見・画像所見・自覚症状などの各種検査結果、治療内容と転帰など</p>
<p>試料・情報を 利用する者の範囲</p>	<p>当院呼吸器内科の本研究の研究責任者、研究分担者 東京医科歯科大学病呼吸器内科の研究責任者、研究分担者</p>
<p>試料・情報の管理におけ る責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)</p>	<p>当院：呼吸器内科 岡安 香 提供先：東京医科歯科大学 呼吸器内科 立石知也</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 呼吸器内科 氏名 岡安 香 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101</p>